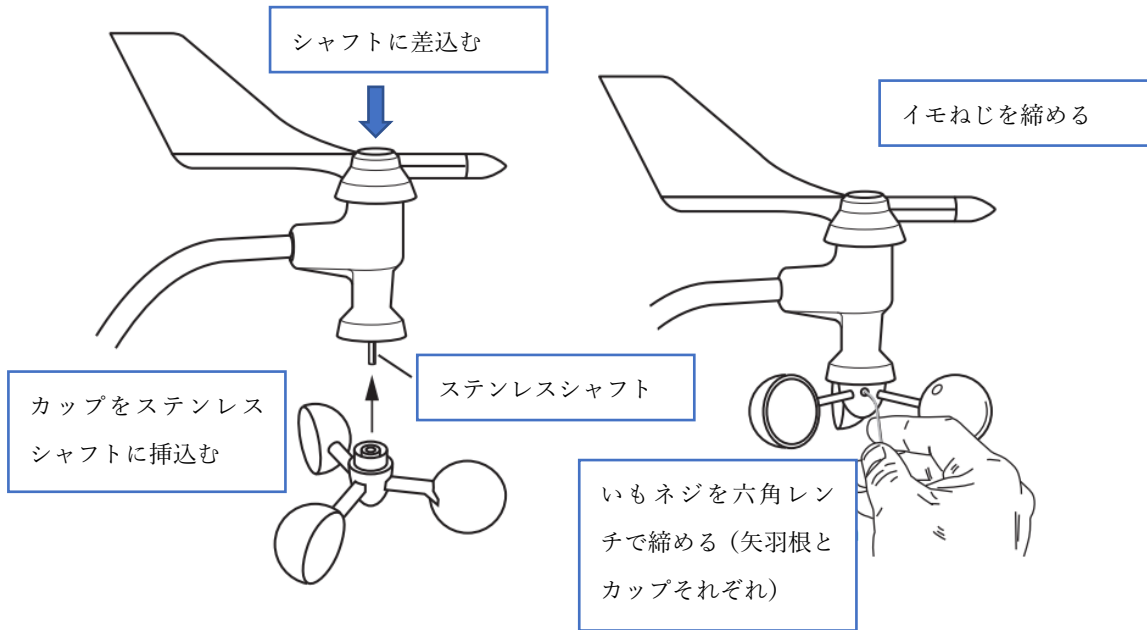


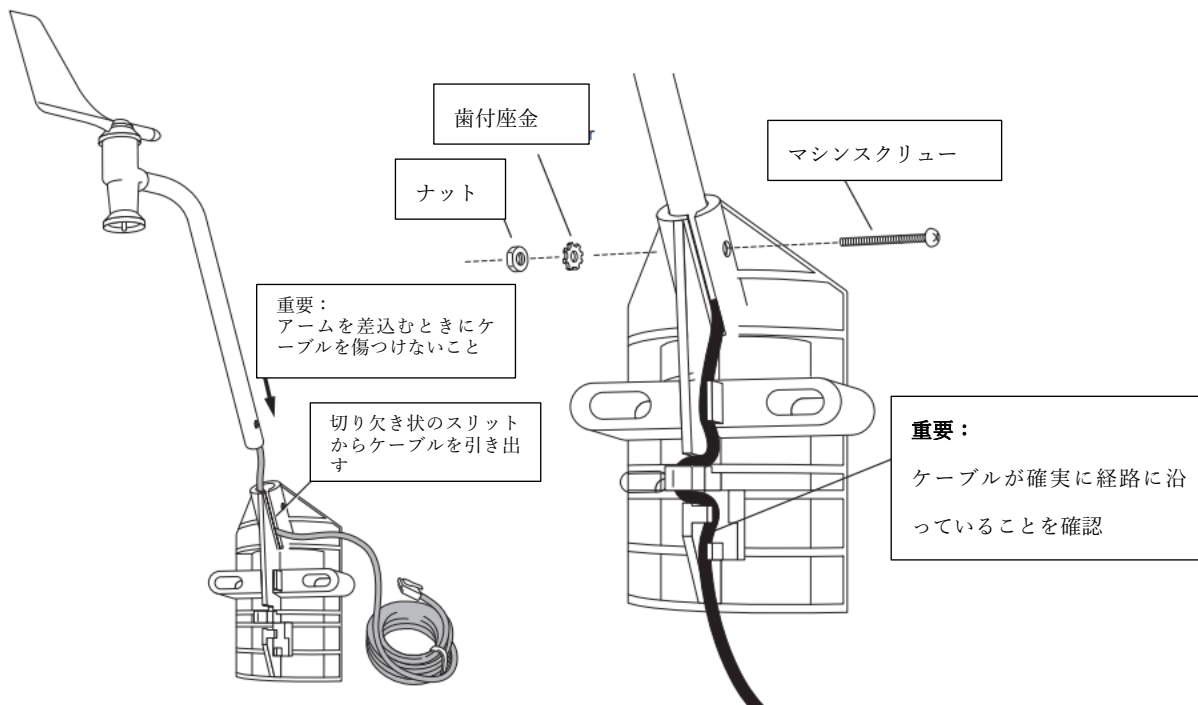
簡易風速計測システムの施工手順書（簡易版）

・付属の六角レンチで矢羽根と風杯カップを下図のように取り付けてください。

◆矢羽根・風杯カップの取り付け方



・風速計のアーム部を単管に取り付けられたベース部材に差し込み、付属のネジで固定してください。



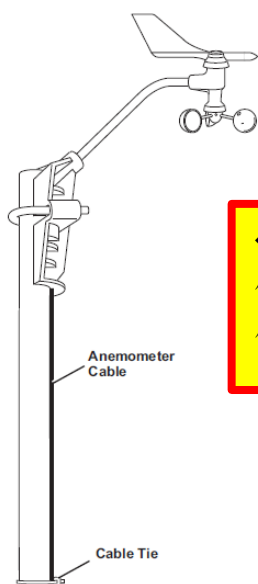
2. 風速計の設置

◆重要◆風速計の方位（本体に方角シール貼付）と方位磁石などで実測した実際の方角を一致させるようにアームを設置してください。



アームの取り付け位置向きを実際の方角に合わせる

- ・風速計は、周囲に樹木や建物などの遮蔽物による影響をうけないように2.1m以上の高さで設置することが推奨されております。
- ・φ48.6の単管パイプであれば付属のCジョイントで連結することができます。



◆重要◆

信号ケーブルは紫外線の劣化や食害を防ぐため、保護管でカバーすることが望ましいです。

3. 動作試験

動作試験前に、風速センサの取り付けが完了したことを確認してください。

【風速の確認】

・無風状態の場合は、風速計の風杯カップを手で回転させてください。風杯カップを1度回転させないと測定が開始されません。

→4ch データロガーでの確認方法： 下図のように「表示切替」ボタンを押下し、テストモードに切り替え、1chの値を表示してください。1m/sあたり40mV相当です。



風速値-電圧値 換算例

1.0 m/s	=	40mV
2.0 m/s	=	80mV
3.0 m/s	=	120mV
4.0 m/s	=	160mV
5.0 m/s	=	200mV
6.0 m/s	=	240mV
7.0 m/s	=	280mV

LED表示器にも近い値(10分平均値の処理タイミングがずれるため値が若干異なる)が表示されていればOK

【方位の確認】

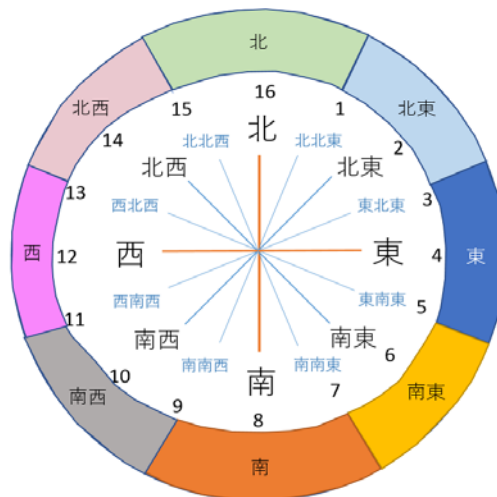
・矢羽根の方位を確認してください。

→4ch データロガーでの確認方法： 1ch 風速表示の状態から「表示切替」ボタンを再度押下すると、2chの値が表示されます。



風向値が表示されます。

風向値は、下図のように1~16の数値が東西南北に対応しております。LED表示器は8方位で表しているため、下図の塗りつぶし範囲の数値に対応します。(例：北は15, 16, 1のとき)



ロガーは16方位で記録されます。簡易LED表示器は8方位(色つき方位)で表示されます。

・LED表示器にも近い値(処理タイミングが非同期のため値が若干異なる)が表示されていればOKです。

Davis専用 風速信号変換器

DIP-SW設定

DIP SW		センサー出力			
3	4	1S	2S	3S	4S
OFF	OFF	平均風速	平均風向	最大風速	最大時風向
ON	OFF	瞬時風速	瞬時風向	平均風速	平均風向
OFF	ON	瞬時風速	平均風速	最大風速	瞬時風向

※ DIP-SW変更後は一度電源のリセットが必要です

出荷時の設定では、写真赤枠の出力がでます。

風速は 1m/40mV

風向は 16 方位 1600mV (1 方位 100mV)

で出力されます。

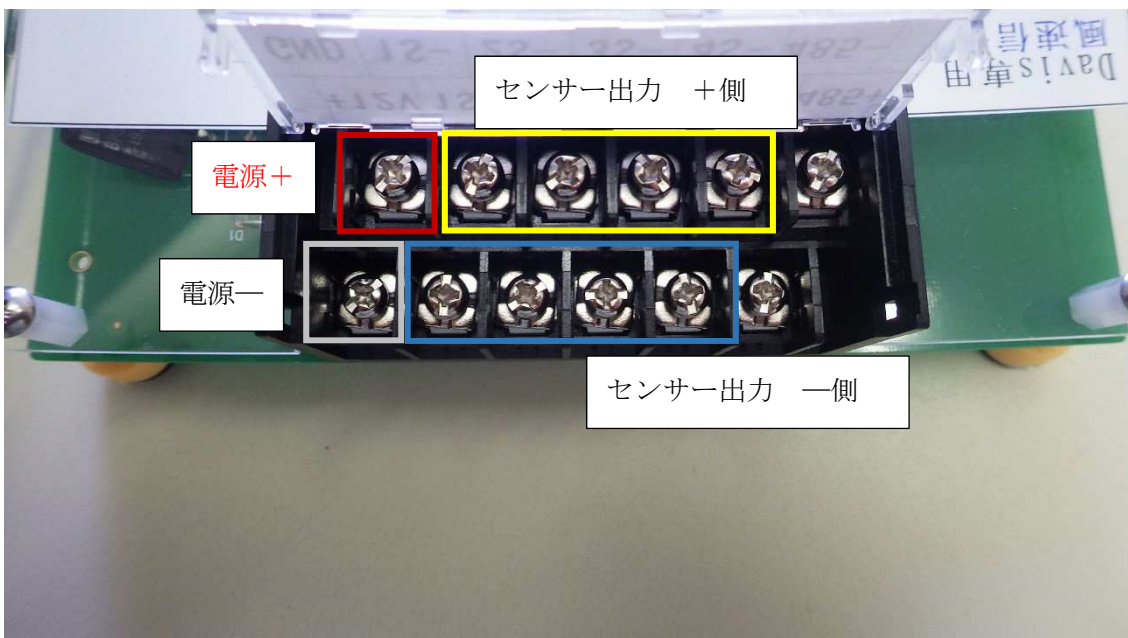
3. 風向風速 接続方法

風向風速センサー 接続方法



図のように上の段に線を接続する。

ロガー側 接続方法



端子台カバーと同じになるように接続する。

センサー出力

4. トラブルシューティング

1) ロガーまたは表示器の数値が変化しない。

→過去10分間の平均風速と平均風向をもとに値が算出されるため、計測開始直後は値の更新がされません。

10分以上経過しても値に変化が無い場合は、結線不良もしくは、接続間違いの可能性がります。

2) ロガーまたは表示器が動作しない。

→電源を接続している端子台の位置が正しいかを確認してください。

3) 風速計の矢羽と風杯がスムーズに回転しない

→ベアリングが損傷している可能性があります。設置から1年以内の場合は無償交換いたします。